

3人4脚



R2. 7/31(金) 第5号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

多くの方に支えられて・・・心より感謝しています。

～会話を通してお子さんの様子をつかみながらご指導いただけるとありがたいです。～

6月1日の学校再開から2か月がたちました。多くの方に支えられどうか1学期の終業式を迎えることができました。この日を迎えることができたのは、保護者そして地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。教職員を代表し心より感謝申し上げます。このところの全国の様子を見てみると、いったん収まったかに見えた新型コロナウイルスの感染が再び広がっています。“第2波”の到来であると言っている人もいます。まだまだ予断を許さない状況がしばらく続きそうです。今後とも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

今年度より二宮町の5校の小・中学校でホームページを始めました。振り返ってみると、本校においては、4月8日の「緊急事態宣言発令に伴う対応について」の案内から始まりました。手探り状態でしたが、「生徒達の学びを止めない」の視点から先生方が自主的にプレゼンテーションソフトでスライド教材を制作し、配信してくれました。そして生徒達は、先生方の「愛情に包まれた手作り教材」を理解しようと主体的に学びに向かっていました。



私は今年の3月に「スマホ」を購入しました。初めはまったく使えなかったスマホでしたが、妻や自分の子どもそして先生方に教えてもらいながらどうにか使えるようになりました。そして「毎日ブログを配信する」ことを目標に掲げました。まだまだ、不十分なブログですが、今ではブログ作りが楽しくなり、すっかりハマってしまいました。システムの不具合により配信できないとき以外は、今後も毎日配信しますのでよろしくお願いいたします。

スマホ等は確かに便利ですが、生徒たちがよく利用しているアプリ上には好ましくないものも多数存在してしまっています。命の尊厳を軽視したもの、人権上配慮の足りないもの、見てしまった後に非常に不快な気分になるものが多数存在しています。学校でも、子どもたちが情報を正しくつかむ力を育成できるよう努めますが、ご家庭でもお子さんがどんなものを見ているのか、今どんなものが流行っているのか、会話を通してお子さんの様子をつかみながらご指導いただけるとありがたいです。

夏休みこそ分岐点！

～計画なくして成功なし～

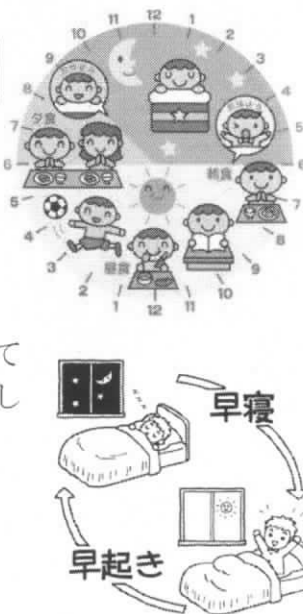
“おもしろくて やがてかなしき なつやすみ”・・・何度経験しても、意気込んで迎えながらむなしく去っていくのを見送る。そして後には追いつめられた忙しさだけが残って、むやみに寂しい2学期を迎える。このような残念な夏休みを送る人もいます。しっかりとした無理のない計画を立てることこそ夏を制するための第一歩です。例年に比べ今年度は17日間だけの短い夏休みとなりますが、計画を自分自身で立てようご家庭でもご指導していただけますようお願いいたします。充実した夏休みを送るためのポイントは次の2つであると私は考えています。

① 具体的な目標を持たせる。

*夏休みを充実させるために、柱になる目標をしっかりと持たせる。

② 早寝早起きを心掛けさせる。

*朝寝坊は大敵、生活習慣の乱れは起床時間から始まる。



「プラス1」の前向きな考え方と周囲への感謝!!

本来なら、7月24日(金)のスポーツの日は、東京オリンピック2020の開会式が行われる予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大で、史上初のオリンピックの延期となってしまいました。ご覧になった方も多いと思いますが、白血病からの復帰を目指す競泳女子の池江璃花子さんが、ちょうど1年後に五輪の開会式が始まる午後8時から、舞台となる国立競技場で全世界へメッセージを発信しました。自分の思いをのせた心を動かされる素敵なメッセージでした。一部を引用させていただきます。



今日は、一人のアスリートとして、そして一人の人間として少しお話させてください。

私も、この大会に出るのが夢でした。オリンピックやパラリンピックはアスリートにとって、特別なものです。その大きな目標が目前から、突然消えてしまったことは、アスリートたちにとって、言葉にできないほどの喪失感だったと思います。

私も、白血病という大きな病気をしたから、よく分かります。思っていた未来が、一夜にして、別世界のように変わる。それは、とてもキツイ経験でした。そんな中でも、救いになったのはお医者さん、看護師さんなど、たくさんの医療従事者の方に、支えていただいたことです。身近で見ていて、いかに大変なお仕事をされているのか、実感しました。

しかも今は、コロナという新たな敵とも戦っている。本当に感謝しかありません。ありがとうございます。さまざまな人の支えの上に、スポーツは存在する。本当に、そう思います。

スポーツは、人に勇気や、絆をくれるものだと思います。私も闘病中、仲間のアスリートの頑張りにたくさんの力をもらいました。今だって、そうです。練習でみんなに追いつけない。悔しい。そういう思いも含めて、前に進む力になっています。

今日、ここから始まる1年を単なる1年の延期ではなく、「プラス1」と考える。それはとても、未来志向で前向きな考え方だと思いました。逆境から這い上がっていく時には、どうしても、希望の力が必要だということです。希望が、遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくても、前を向いて頑張れる。

私の場合、もう一度プールに戻りたい。その一心でつらい治療を乗り越えることができました。世界中のアスリートと、そのアスリートから勇気をもらっているすべての人のために。

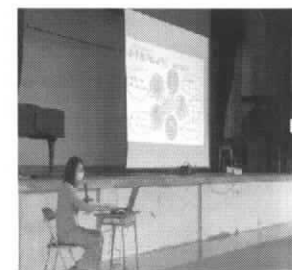
一年後の今日、この場所で希望の炎が、輝いていて欲しいと思います。

競泳選手 池江璃花子

「プラス1」の前向きな考え方と周囲への感謝。逆境にある今だからこそその素直で美しい言葉だと感じました。オリンピックに出場すること以上に、彼女の生き方に感銘を受けました。・・・子ども達にぜひこのメッセージの意味を考えてほしいと願っています。

1学期の👍(いいね!)No.1は、「しっかり聴いてしっかり学びました。」でした。

昨日のお昼の時点で、本校のホームページの記事に対して👍(いいね!)を1番多くいただいたものは、06/01に掲載した「しっかり聴いてしっかり学びました。」で30名からいただきました。この記事は、分散登校校初日に各学年の生徒達に養護教諭の横山先生が「検温、手洗い、マスク、三密を避ける、抵抗力のある体作り」の重要性について体育館で話してくれたものです。・・・これからの良い記事には、👍(いいね!)をいただけたらありがたいです。



※体育祭を10月2日(金)に実施することが決まりましたのでお伝えします。具体的な種目等の内容については検討中です。なお、今年度に関しては平日日程での開催とさせていただきます。よって、当日が荒天の場合は、5日(月)へ延期となります。(5日以降順延となります。)新型コロナウイルス感染症の感染リスクを配慮した上での実施となります。ご理解・協力のほどよろしくお願いいたします。